

山口県の 中小企業

2008 Jun

6

Vol.602

組合活性化情報

毎月1日発行

平成20年6月1日

■特集

- ・ 連携組織支援対策の推進と中小企業組合等の基盤支援の充実を
中央会第53回通常総会を開催
- ・ 山口県経済5団体懇話会を結成
温暖化防止など連携して運動展開
- ・ 公労使で子育て支援を
県と6団体が共同宣言に署名
- ・ 『商稼村塾・やまぐち連携交流プラザ』リニューアル!
- ・ 連携支援コーディネーターをご活用下さい!

■組合等ニュース

- ・ 生鮮ごみを大駐車場の屋上緑化に役立てる
山口道場門前商店街振興組合
- ・ インテリアデコレーター試験合格者認定証授与式
山口県室内装飾事業協同組合

■お知らせ

- ・ 平成20年度季節資金(夏季資金)のご案内
- ・ 2008韓国国際機械博覧会(KIMEX2008)出展企業募集!
- 会員紹介 企業組合うつつ工房
- 全国先進組合事例
- 景況動向



こめりん

理事長に聞く！

英知と情熱で新時代にチャレンジ



柳井機械金属協同組合
理事長 萬谷 英幸氏

- ◇株式会社大島製作所 代表取締役会長
- ◇山口県中小企業団体中央会 副会長
- ◇山口県中央会鉄工組合連絡協議会 会長
- ◇山口県職業能力開発協会 会長などの要職を歴任
- ◇旭日双光章をはじめ、山口県選奨、中小企業庁長官賞など多数受賞

防止の観点から安全衛生管理を向上するための相互パトロールや組合員である経営者や従業員の能力アップを図る研修会の開催、先進地の視察研修などを行っています。特に、企業は人なりの精神のもと、能力開発を進めるために、組合が母体となった職業訓練校を運営しています。技能士、職業訓練指導員の資格を取得することにより、各企業の従業員を指導できるように人材育成に力を入れていきます。



視察研修

■業界の現状について教えてください。
日本経済は、中国の高度成長や輸出の増加により、製造業や素材型の産業を中心に景気は回復傾向にあります。しかしながら、半導体関連においては一服感があり、また、原料の値上がりや価格転嫁できないなど、状況は依然として厳しいものがあります。

このような状況の中、地域の発展のために、モノづくり製造業の産業力向上を図り、急速なる技術革新に対応できる教育訓練の必要性や卓越した技術の後継者への伝承、若手経

営者へのバトンタッチなどを円滑に解決することが課題となっています。
■組合の沿革（設立の経緯）を教えてください。

昭和37年、柳井地区の鉄工業者が労務管理、教育事業などを目的に、柳井地区鉄工業協同組合として設立し、昭和48年、柳井機械金属協同組合に改称しました。

■取り組んでいる事業や活動を教えてください。

小さな意味でいうと異業種の集まりなので、情報交換を主体とした事業を行っています。また、労働災害

■趣味や特技、最近、熱中していることは何ですか？

陶芸を始めて3年目になります。陶芸の時は色々な事を忘れ、作品作りに集中しています。また、モットーは、「運を呼び込め」です。情報が量・質ともに豊富であれば、チャンスをつかむ可能性も大きく、客観的に判断することができ、その結果、運がついてきます。

■組合のPRをお願いします。

経済環境は堅調に推移しているといいながら、我々中小企業は実感が薄いです。こういった景況の中で、

利益確保や技術革新、労働者の能力開発など、様々な課題を克服するために、活発な情報交換により組織の強化を図るとともに、個々の組合員のレベルアップを図るための教育訓練に力を入れていきます。
今後も組合員の結束を深め、資質向上を図り、相互扶助の精神で組合運営を行い、活性化させていきたいです。

〈組合概要〉

柳井機械金属協同組合
柳井市大字柳井1611-1
☎0820-22-1600

- 業 種 製造業中心の異業種
- 出 資 金 65万円
- 組合員数 12人



連携組織支援対策の推進と

中小企業組合等の基盤支援の充実を

中央会第53回通常総会を開催

5月23日、山口市「ホテル松政」において、中央会第53回通常総会を開催した。

当日は、会員323名（委任状含む）をはじめ、来賓として二井山口県知事、島田山口県議会議長（代理重宗商工労働委員長）ほか13名が出席。平成19年度事業報告、収支決算書の承認など上程7議案が原案どおり承認された。



冒頭、藤井会長より「本会では、組合及び組合傘下の企業の取り組みを支援していくため、本年度においても、重点事項として、①連携組織

支援対策の推進、②中小企業組合等の基盤支援の充実の二つの柱を掲げ、取り組みを進めていくこととしている。まず、連携組織支援対策については、連携組織交流プラザ事業のもとに、異業種交流、産学交流の促進と多様な連携に向けた取り組みを支援していくこととし、新たに支援対象グループの開発商品を販路の開拓に繋げる等の「連携企業等商談会」を開催することとしている。また、「頑張る小規模企業応援プラン」のもとで、小規模企業等の経営力向上、新事業展開等を支援する「地域力連携拠点事業」が創設されたため、中央会としても、この事業を大いに活用し、頑張る小規模企業等を応援す



藤井会長

る支援拠点としての役割を果たしていく。次に二つ目の柱の中小企業組合等の基盤支援については、組合等の現状と課題やニーズ、シーズ等についてのアンケートを実施し、業種、規模、事業の実態等に応じた組合の活性化等への取り組みを支援していく。」旨の挨拶があった。

続いて、来賓の二井山口県知事より「県において、諸課題等に対応するため、原油価格高騰等対策として、中小企業制度融資に「緊急経営改善支援資金」を設けた。また、中小企業の技術力を強化し、高度技術産業への参入の促進を図るため、産学公で構成する「やまぐちブランド技術研究会」を創設したほか、産業人材育成総合支援事業により中小企業等の技術者の育成や技能向上を図るなど、積極的に中小企業対策に取り組

んでいる。

県づくりの理念として「自立・協働・循環」という3つのキーワードを掲げており、中小企業協同組合の皆様も、それぞれ自立ということが重要であるが、同時にお互いに中小企業協同組合のもと、一致結束して協力し合い、協働の力を発揮することにより、地域の中で良い循環を興していただきたい。」旨の祝辞をいただいた。



重宗商工労働委員長



二井山口県知事

また、島田山口県議会議長（代理 重宗商工労働委員長）からも「県議会として、元気で活力ある地域の産業を育成・支援し、本県経済の活性化と県民福祉の向上を図るため、議員提案による『ふるさとの産業を振興するための条例』制定に向けて、目下検討している。」旨の祝辞をいただいた。

引き続き、議長に山口県農業機械商工業協同組合の田中理事長を選任し、議事に移り、議案として上程された7議案が原案どおり承認された。任期満了に伴う役員選挙では、藤井 寛氏（山口県火災共済協同組合理事長）を会長に、理事26名、監事3名を選出した。

また、総会後に行われた理事会では、副会長4名及び専務理事1名を選任した。

中央会新役員

（任期：平成20年5月30日～平成22年5月29日）

専務理事	副会長	会長
河野 泰明 （山口県中小企業団体中央会）	山田 義裕 （宇部鉄工業協同組合）	藤井 寛 （山口県火災共済協同組合）
	嶋村 健児 （テクノセンター下関協同組合）	萬谷 英幸 （柳井機械金属協同組合）
	田中 直行 （山口県農業機械商工業協同組合）	

《重点事項》

- 連携組織支援対策の推進**
 - 多様な連携体活動支援事業の推進
 - 連携組織等を活用した創業支援
 - 経営課題の克服を図るための経営革新支援
- 中小企業組合等の基盤支援の充実**
 - 経営環境に対応した組合等への支援の充実
 - 改正組合法に基づく組合等運営の整備
 - 経営者、後継者等のための人材育成事業の推進
 - 情報化推進のための基盤支援及び情報提供の充実
 - まちづくりの推進をはじめとした商業活性化の推進

理事		理事	
大 中 哲 昭 （エレマ協同組合）	下 野 賢 一 （山口県左官業協同組合）	細 野 能 男 （日立笠戸協同組合）	俵 義 紀 （中央街商業協同組合）
八 塚 和 弘 （新南陽鉄工団地協同組合）	東 佳 範 （山口県鍍金工業組合）	喜 多 村 誠 （防府流通センター協同組合）	前 村 隆 規 （山口県電気工事工業組合）
大 田 明 （山口県商店街振興組合連合会）	山 浦 章 夫 （山口県生コンクリート工業組合）	角 野 悦 雄 （山口県理容生活衛生同業組合）	宇 野 好 一 （山口県菓子工業組合）
監事		理事	
山 野 信 夫 （防府卸団地協同組合）	柳 崎 正 （山口県豊工業組合）	中 村 重 雄 （山口県石材加工協同組合）	白 木 浩 一 郎 （山口県中小企業団体中央会青年部）
		伊 藤 孝 身 （湯本温泉旅館協同組合）	松 村 勇 （萩阿武建設協同組合）
		田 坂 祐 一 （下関自動車整備協同組合）	奥 野 丞 （吉見安岡浦鉾協同組合）
		末 永 興 一 （下関南風泊水産団地協同組合）	岡 本 博 之 （下関鑄造鉄工協同組合）
		岩 本 秀 行 （山口県パン工業協同組合）	金 子 準 二 （社団法人山口県情報産業協会）

山口県経済5団体懇話会を結成

温暖化防止など連携して運動展開

中小企業団体中央会、経営者協会、商工会議所連合会、商工会連合会、経済同友会の経済5団体は、行政とも協調しながら企業や地域が直面する課題に連携して取り組むため、4月28日に「山口県経済5団体懇話会」を結成した。また、同日、中央会の藤井会長をはじめ各代表者は二井知事を訪ね、懇話会の結成とともに、今年度から取り組む次の2つのテーマを報告した。二井知事もこれらのテーマは県政の重要課題であるとして、協力を約束した。



1. 「やまぐちエコファイブ宣言」身近なことから進んで始めよう」

地球温暖化防止に向けた運動として、オフィス等の業務部門や家庭から排出されるCO2を抑制するため、省エネなどの身近な取組みについての啓発活動を展開する。オフィスの省エネやクールビズ、ウォームビズの実行、エコドライブ、買い物時のマイバック持参などの実践項目を掲げ、共同宣言を行うことで、企業・団体、従業員が職場や家庭で自発的に取り組む機運を盛り上げる。

2. 「インターンシップ事業の推進」若者の未来をサポート」

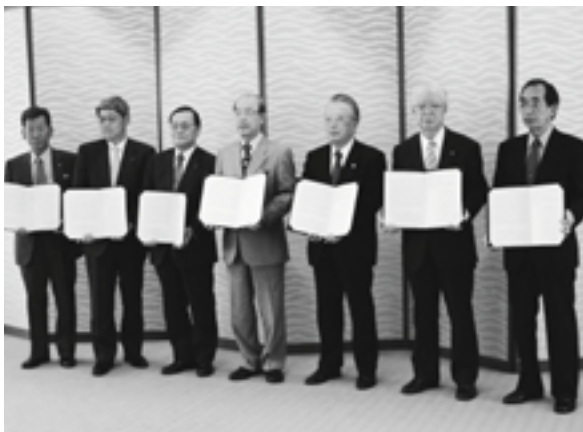
若者の職業観、就業意識の醸成および県内就職を促進するため、インターンシップ事業を拡充する。具体的には、大学生等のインターンシップの拡大に向け、県内外の大学等へのPR活動および受入企業の開拓に取り組む。また、経済5団体、企業、大学等による推進体制を整備するとともに、相互に連携、協力して多様で魅力ある受入企業の開拓に取り組む。大学等に対して受入企業の周知に努める。

公労使で子育て支援を

県と6団体が共同宣言に署名

男女がともに働きながら、安心して子どもを生み育てることができ、環境づくりを進めるために、5月12日、県庁正庁会議室で県、中央会をはじめとする経済5団体、労働1団体が「やまぐち子育て応援に関する共同宣言」を締結した。

二井知事は、「子育て支援は、公労使の連携が重要。県としても諸施策を積極的に推進する」と決意を述べた。経済団体からは、小池経営者協会会長が代表して「時機を得た取



共同宣言に署名する藤井会長

組みであり、活動の成果が地域の活性化につながれば」と語った。

県は、昨年10月に「子育て文化創造条例」を制定しており、このたびの宣言では、企業、行政等が連携して取組みを進め、社会全体で子育てを応援する機運を醸成することが重要とした上で、次の3つの取組みを推進することとした。

- ・仕事と子育ての両立に向けた職場環境づくり
- ・子育て女性等の再就職支援
- ・若者の就労支援

下関に伝わる伝統野菜「彦島春菜」や米粉パンなど 地域で生まれる旬の食材を提供

豊かな自然が残る
「うつい」

下関市内日（うつい）地区の農協婦人部が中心となって、平成13年に「内日工房ふれあいセンター」を設立。以後、地産地消・手作りのおふくろの味にこだわった商品を販売してきた。地域の活性化と関わりをより深めるため、法人化を考え、平成19年に企業組合を設立した。



地域との関わり

組合のマスコットとロゴは地元内日中学校の生徒にデザインを募り、名前は内日小学校の児童から「こめりん」と名付けてもらった。また、組合と地域の食材をよく知ってもらうために、桜餅や米粉バターケーキのプレゼント、児童生徒によるパン作り、野菜の植え付け体験や様々な交流を行っている。

安心・安全で美味しい商品
をお届け

当組合は、下関市の伝統野菜「彦島春菜」を商品化した「馬関菜漬」や米粉を使ったパンやケーキ、弁当、餅類などの製造・販売、商品開発を行い、安心・安全で美味しい商品をお届けしている。

また、昨年に「うつい工房ふれあいうどん」をJA下関本部内に開店し、内日地区だけでなく新下関地域にも販路を広げ、様々な地域のイベントへ参加し、商品の

〈商品紹介〉

◎馬関菜漬（ばかんづけ）

平成18年度山口県特産品振興奨励賞を受賞。下関の伝統野菜である「彦島春菜」を食べやすく刻んで商品開発し、独特の歯ごたえと風味が特徴の商品である。



◎米粉パン

小麦パンよりも食べごたえがあり、小麦アレルギーの方にも良いとされ、あたたためて食べるとお米パン独特の美味しさが楽しめる。



うつい工房へ行ってみよう！

PR及び販売を行っている。

内日は農業と林業を中心とした



地域。豊かな自然に囲まれ、新鮮な水で美味しく安心なお米、農作物が育っている。「うつい」のあたたかいお母さんたちの知恵と真心込めた手作りの味はお客様にも大好評。
うつい工房へ行ってみよう！

組合概要

組合名 企業組合うつい工房
理事長 中野 千鶴子
住所 下関市大字内日下
1137番地
☎ 083-289-2344
出資金 430万円
組合員数 23人

茨城開発事業協同組合

各分野のスペシャリストが結集し

大規模な工事を受注

ポイント

各種工事の専門業者が結集し組合を設立。官公需適格組合の証明取得などによって、組合員単独では受注困難な大型の工物件物を共同受注。年間3億円を超える実績をあげている。

背景と目的

景気の長期低迷によって、受注の落ち込みや採算・資金繰りの悪化が顕著となっていた。そこで組合は、個々の企業では受注が難しい官公需建築・土木事業の共同受注事業に取り組みことなつた。

事業・活動の内容

官公需適格組合証明を再取得し、国や県、市などに上位ランクでの登録を実現。組合員構成を総合工事、電気工事、内装工事、塗装工事、とび・土木を集めた専門工事集団にするなど、様々な改革を行っている。

また、電子入札制度にも対応済みであり、積算ソフトも積極的に活用するなど、スピーディーな対応を実現している。

成果

組合による共同受注事業によって、個々の組合員では為しえない大型工事の受注が可能となつている。平成17・18年度の受注実績は318、393千円となつている。また平成19年度も、上期だけで既に3億円を超える売上を達成している。



組合施工：中津川水処理厂新築工事業

組合概要

組合名	茨城開発事業協同組合
設立	平成11年6月
住所	茨城県ひたちなか市共栄町6-1-5
出資金	029-354-6377
組合員数	40,000千円
	7人

再生品の品質向上のため

ISO 認証取得

ポイント

ガレキ類に特化した建設廃材を受け入れ、路盤材として再生品を販売しているため、歩留まり率が極めて高い。さらに高品質の再生品とするためISO品質マネジメントを導入。

背景と目的

建設廃材の再生利用に25年前から取り組み、共同施設としてリサイクルプラント、ストックヤード等を持ち、組合員から持ち込まれた建設廃材を破碎して、砂利、砂等に篩い分け混合し、舗装用建材として組合員等へ販売している。

事業・活動の内容

当組合は建築廃材の受入時点でトラックに積まれた廃材を確認し、がれき類に特化して受け入れているため、搬入と再生の歩留まり率は、ほぼ100%に近い。組合では、再生品の品質を維持するため、ISO9001/2000品質マネジメントシステムの認証を取得し、目標を定め改善している。

成果

組合員のメリットは、①建築廃材のがれき類を安心してしかも安く処分でき、再生品の再利用もできること、②藤沢市内に組合があることで、廃材の運搬コストの削減ができること、③藤沢市の支援が得られていることである。



リサイクルプラント風景

組合概要

組合名	協同組合藤沢市建設資源リサイクルセンター
設立	昭和57年12月
住所	神奈川県藤沢市桐原町23番地の4
出資金	0466-45-7636
組合員数	79,900千円
	141人

うべ狐の嫁入り行列 宇部新川市まつり

春の伝統行事・宇部新川市まつりが5月5日、新天町名店街や銀天街などの中心市街地で開かれた。

当日は、中津瀬神社を起点に中心市街地を巡行する「うべ狐の嫁入り行列」やハミングロード新天町アーケード内で「新天町子どもまつり」が行われたほか、馬替え大抽選会やよさこいフェスタ、花みこし、宇部市の新名物「月待ちがに大鍋」、宇部地産地消ふるさとフェアなど多くのイベントが催され、多くの家族連れで賑わった。



生鮮ごみを大駐車場の 屋上緑化に役立てる



山口道場門前商店街振興組合（吉松昭夫理事長）は、ごみ減量化で生ごみのリサイクルを考え、道場門前街どうもんパークの1階に入店するコープどうもんから出た生鮮ごみを道場門前大駐車場の屋上緑化に役立てる取り組みを始めた。

生鮮ごみを米糠と混ぜて、駐車場屋上で堆肥化させ、出来た堆肥で春前から植え付けを行い、根菜や花等を育てている。

吉松理事長は、「エコの重要性を組合員全員が理解・賛同して、屋上緑化を実現することができた。」と語った。

平成20年度季節資金(夏季資金)のご案内

県では、夏季の資金需要に際し、県内小規模企業者等の必要とする資金の融通を円滑にして経営の安定を図るため、県内の中小企業者、とりわけ小規模企業者の皆様を対象に、下記のとおり夏季資金(運転資金)の融資を実施しています。

融資取扱期間	5月26日(月)から8月29日(金)まで
融資限度額	・会社及び個人 800万円 ・組合 4,800万円
融資利率	年2.1%〔責任共有制度対象外 年1.9%〕(保証無の場合は年2.2%)
保証料率	・責任共有制度対象 年0.34~1.45% ・責任共有制度対象外 年0.40~1.76% (セーフティネット保証等に該当する場合は年0.65%)
償還期間及び方法	5カ月以内(原則として一括償還)
保証人	原則として法人の代表者以外は不要(保証無の場合は、取扱金融機関所定の方法)
担保	取扱金融機関、山口県信用保証協会所定の方法
お問い合わせ	銀行、信用金庫、信用組合、商工組合中央金庫、山口県経営金融課まで

山口県経営金融課

県資料館で 工芸菓子「名橋 錦帯橋」を展示

山口県菓子工業組合（宇野好一理事長）は5月13日、姫路市で開催された「第25回全国菓子大博覧会・兵庫」（開催期間：4月18日～5月11日）に出品した工芸菓子「名橋錦帯橋」を県に贈呈し、県資料館の物産展示コーナーで来年3月末まで展示されることとなった。

工芸菓子「名橋錦帯橋」は、粉砂糖やゼラチン、水あめなど、全て食べられる菓子素材からできている。60分の1の大きさで再現された錦帯橋は、山口県内の菓子名工8人によつて作られ、制作に約半年かかった。



インテリアデコレーター試験合格者 認定証授与式



山口県室内装飾事業協同組合（林洋司理事長）は5月16日、インテリアデコレーター（内装士）の試験に合格し、資格を取得した組合員及び青年部員（10名受験し、10名合格）に対し、内装士認定証の授与式を行った。

インテリアデコレーターは、室内装飾の企画・設計・施工管理の知識、技術、能力、経験を有する人として評価格付けに合格したインテリアづくりの専門家で、内装施工現場で直接施主と会い、その前で内装施工の技能を発揮し、施工・サービスを提供している。

2008韓国国際機械博覧会(KIMEX2008) 出展企業募集

山口県では、韓国有数の国際機械博覧会に出展する県内企業を募集しています。展示ブース、搬入経費、通訳経費を支援する予定です。韓国での事業展開、韓国企業との取引をお考えの企業の皆さん、是非ご検討ください。

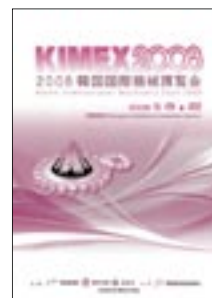
開催期間 11月19日(木)～22日(土)
開催場所 韓国慶尚南道昌原市
「昌原展示
コンベンション・センター」
募集企業 3社程度
申込期限 6月末日

経費負担 <県側負担>
・ブース借り上げ代、通訳経費など展示会に係る経費
・展示品運搬経費（韓国との往復）
・展示品輸出入手続経費
<参加者負担>
・渡航経費及び滞在経費
・展示品県内運搬費



お問い合わせ ジェトロ山口貿易情報センター ☎083-231-5022
山口県国際課 貿易班 ☎083-933-2340

※先ずはお電話ください。詳しい資料をお送りします。



月次景況調査結果

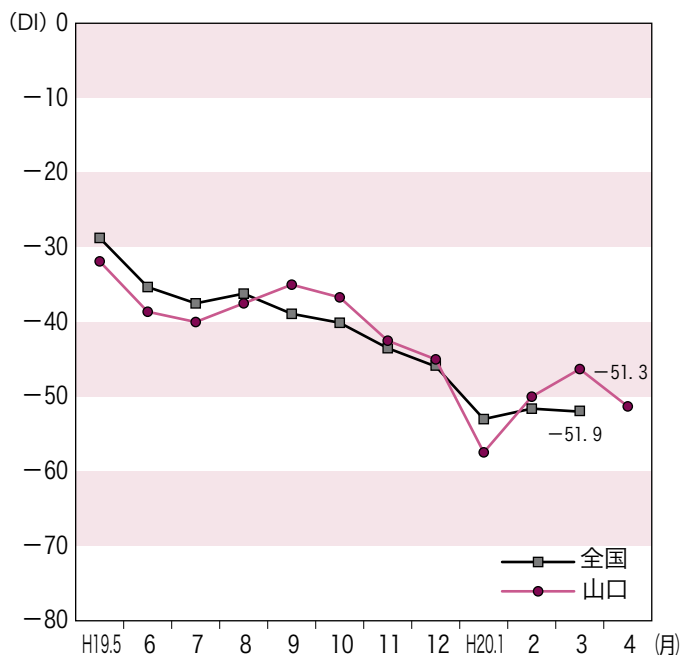
平成20年4月期

業種別の景況

	業種	景況 (DI値)
製造業	食料品	☂
	繊維・同製品	☔
	木材・木製品	☂
	印刷	☂
	窯業・土石製品	☂
	鉄鋼・金属	☂
	一般機器	☂
	輸送機器	☔
	その他の製造業	☂
非製造業	卸売業	☔
	小売業	☂
	商店街	☂
	サービス業	☔
	建設業	☂
	運輸業	☂

30以上★ 10以上30未満☔ -10以上10未満☂
 -30以上-10未満☔ -30未満☂

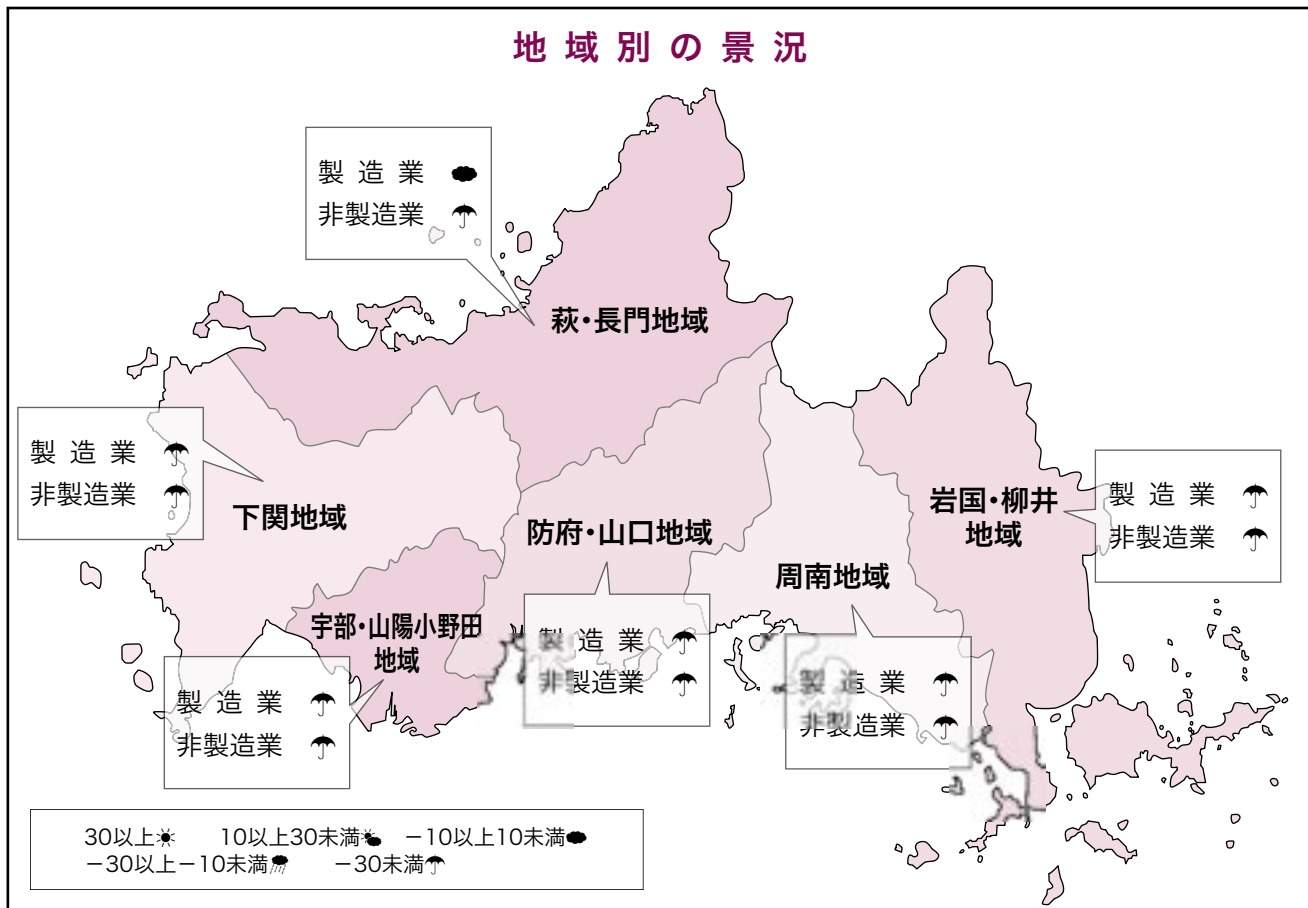
業界の景況の推移-全国平均との比較-



※DI値(前年同月比)=[(増加・好転組合数-減少・悪化組合数)/調査対象組合]×100

(表、グラフについては、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

地域別の景況



【情報連絡員報告】

情報連絡員とは、山口県内の組合の中から地区、業種を代表する組合の役員60名を情報連絡員に委嘱する制度です。情報連絡員から毎月、業界の景気動向に関する情報を収集、分析して、行政面に反映せるとともに、各関係機関に情報提供しています。

また、中央会 (<http://www.axis.or.jp/>) のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。

食料品

○今月は、著しく二極化現象が現れた。東も西も良い所は120%前年比で推移している所も顕著にみられたが、反面、元気がない所は減少傾向にあり、全体の見方とすれば前年割れの状況であった。

(パン・菓子製造業)

○4/13(日)、NHK総合TV「産地発!たべもの一直線」で秋の真ぶが35分枠で特別紹介(全国放送)大きな反響があった。4/21、中小企業庁の地域資源∞全国展開PJに2年連続で事業採択決定。今年度は「秋のアマダイ」のブラン

ディングに取り組み。

(食料品製造業)

木材・木製品

○昨年秋季以降、木材需要の低下している中で、景気の停滞・降下が危惧されている。

(製材業・木製品製造業)

窯業・土石製品

○平成20年度から、セメント、骨材等の原材料の値上げが予定されており、需要低迷の中、引き続き厳しい状況。

(セメント・同製品製造業)

一般機器

○4月に入り、電子部品が減少に転じている。自動車がマズマズのため、売上は前年並みを予想している。

(一般機械器具製造業)

輸送機器

○鉄道車輛部門は、生産調整が進み、一時の超繁忙から正常な生産工程に入った。長期的にも好調を維持していく見通しにある。精密加工部門は、期前半(4~6月)の作業量に比べ後半が不透明なのが気がかりである。

(鉄道車輛・同部品製造業)

その他の製造業

○建設業界全般の不振で、新規工事を中心の豊工事店は工事量が激減の様子。特殊豊(消費者の好みに応じて)の注文で忙しい店もある。豊の良さも見直されつつあるので、積極的に対応している店が残ると思われる。価格はなかなか上げられず、豊材料高で収益は悪化している。

(豊製造業)

卸売業

○後期高齢者医療保険の制度がはじまり、益々の売上下降。販売圏が高齢の地域だけに厳しい。(柳井市)

小売業

○今月15日に携帯ショップが営業不振を理由に退店申し入れがあり、今年に入り組合員、テナントが相次ぎ退店しており、ショッピングセンターとしては大変厳しい状況下、6月には食品スーパー、8月には大型ドラッグストア12号店がオープン予定にて、更なる競争激化となるので、空店舗対策に努力している。

(長門市)

商店街

○物価値上り、高齢者保険料負担増

で目を追うごとに生活への不安感が高まり、前月度より更にムード悪い。5月新規オープンの店あり。お見合い商談会に参加し、オーガニックCafeとして開店。(萩市)

サービス業

○新車販売台数が対前年比大幅減。前年までは、軽は増加していたが、軽も19年度トータルで前年比▲7.9%となった。(自動車整備業)

建設業

○住宅新築工事が激減。特に工務店による木造住宅の着工件数は特に厳しい。ハウスメーカーについては、利幅が無いことはあるが件数はある。官公庁の箱ものが建築されないことから、以上の業者は従業員を減少するなどの対応をしている。(電気工事業)

運輸業

○トラック業界としては喜びである燃料の値下り、3月末より運行は楽になる様な気持ちになり組合員各社のETC使用が増加した。ガソリンより軽油の取引税の下げで業者は仕事に力が入る。全国で60%の業者が最悪の経営状態である。

(下関市)

(地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を支援してほしい)

施策シリーズ②

中小企業地域資源活用プログラム

～地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化に対する支援～

地域資源を活用して新商品や新サービスを開発する中小企業者に対して、法的措置や予算措置、金融措置などにより総合的な支援を展開します。

中小企業者が、地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を行う際、「中小企業地域資源活用促進法」に基づく支援の他、様々な支援を受けることができます。

■「中小企業地域資源活用促進法」に基づく支援

対象となる方

地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化に取り組む中小企業者

支援内容

中小企業地域資源活用促進法に基づいて、中小企業者が単独又は共同で、地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化を行う「地域産業資源活用事業計画」を作成し、認定を受けると、補助金、低利融資、課税の特例等の各種支援策をご利用になれます。

なお、個別の支援策ごとに支援機関の審査や確認が必要となる場合があります。

- (1) 補助金（地域資源活用売れる商品づくり支援事業：補助率2/3）
- (2) マーケティング等の専門家による継続的なアドバイス
- (3) 中小企業基盤整備機構が主催する商談会、アンテナショップ等に対する優先的な出展
- (4) 政府系金融機関による低利融資制度
- (5) 信用保証の特例
- (6) 食品流通構造改善促進機構による債務保証等
- (7) 中小企業投資育成株式会社法の特例
- (8) 課税の特例

■お問い合わせ 中小企業庁 経営支援部経営支援課 ☎03-3501-1763

毎月勤労統計地方調査結果

平成20年3月ー山口県統計分析課

事業所規模 5人以上

産 業	賃 金		労働時間数及び雇用						労働異動	
	現金給与総額	所定内与給	出勤日数	総実労働時間	所定内労働時間	所定外労働時間	月末常用労働者数	パートタイム労働者比率	入職率	離職率
	円	円	日	時間	時間	時間	人	%	%	%
調 査 産 業 計	257,771	228,379	19.8	152.5	140.9	11.6	446,967	25.6	1.64	1.56
建 設 業	292,135	264,633	21.2	175.5	157.5	18.0	38,025	8.9	0.84	0.81
製 造 業	292,720	249,322	20.1	164.0	147.8	16.2	100,073	15.1	0.86	1.10
電気・ガス・熱供給・水道業	364,521	345,224	18.7	152.2	145.4	6.8	2,449	2.3	0.00	0.61
情 報 通 信 業	285,142	259,960	19.4	149.2	141.4	7.8	4,068	15.5	0.92	2.96
運 輸 業	270,413	197,060	20.9	180.5	151.2	29.3	30,646	14.8	2.30	1.37
卸 売 ・ 小 売 業	212,873	199,131	20.6	147.7	138.8	8.9	83,707	37.2	1.25	1.78
金 融 ・ 保 険 業	368,682	312,749	19.3	154.9	146.8	8.1	10,426	8.4	0.87	0.64

『商稼村塾やまぐち連携交流プラザ』を リニューアルしました!

このたび、ホームページ「商稼村塾やまぐち連携交流プラザ」(<http://son19.com/>) をリニューアルしました。組合員企業の製品、商品、サービス等の紹介や広範囲なビジネスマッチング並びに連携交流の実現にご活用下さい。主なりリニューアルの内容は、次のとおりです。

①トップページをリニューアル!

画面のワイド化の他、FLASHによる動きのある画面構成としたほか、アンテナ機能により関連サイトの最新情報を収集できるようになりました。

②受注希望情報と技術希望情報を新規で追加!

主力商品以外の受注希望やさがしている技術情報が書き込めるようになりました。

③地域産業資源を活用した連携コーナーを設置!

山口県の地域産業資源基本計画と連動した掲載企業紹介ページを設置しました。

④連携支援コーディネーター情報を登録!

連携支援コーディネーターの情報、活用方法等について掲載しています。

⑤企業情報を携帯電話からもアクセス可能に!

携帯サイト (<http://son19.com/m/>) を設置しました。

QRコードを使ってアクセスしてみてください。

⑥商品、サービス説明等で動画の貼り付けが可能に!

youtubeタグ並びにhtmlタグの貼り付けが可能になりました。



連携支援コーディネーターをご活用下さい!

本会では、販路拡大など新たな販売先の開拓、企業間連携や産学連携に向けて取り組む中小企業者が抱える諸課題（経営、技術、人材、情報化等）の解決のため、34名のコーディネーターの方を登録しています。

◆こんな悩みを解決したい時などに使えます

- 連 携：組合等の組織化、産学連携、企業間連携のノウハウ
- 経 営：I S O、HACCP等の導入、経営改善への取り組み、創業時のノウハウ、新製品・商品の開発、M & Aへの取り組み、特許・実用新案への取り組み
- 財 務：資金計画、資金調達の方法、財務体質の改善、債権管理の手法
- 生 産：コストダウン、納期短縮の促進、設備計画の構築、加工技術、品質の向上、生産管理体制の見直し、製造現場の改善
- 販 売：マーケティングの導入、販売管理体制の見直し、店舗の改善、営業戦略の構築
- 情報化：ネットワークの構築、業務システムの導入
- 労 務：OHSASの導入、401k（確定拠出型年金）の導入、人材教育への取り組み、労務管理体制の見直し

◆支援に係る対象企業の経費負担

メール等での入口相談を除き、コーディネーター派遣等の支援に要する経費（コーディネーターに支払う謝金、旅費等）の2分の1を下回らない額を負担金としてコーディネーターの支援を受ける対象企業等に請求させていただきます。

◆支援対象やコーディネーターの詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://son19.com/p/coordinator.html>





事務全般を行っている畑中さんと
経理担当の上村さん、
高速道路通行料共同精算事業担
当の寺戸さん。

3名とも「電話
対応や来客への対
応について、お客
様が気持ちよく会
話できるよう心掛
けています。」と
頑張っています。

組合のPRをお願いしたところ、「組合事業は共同購買や
高速道路通行料共同精算事業、情報提供など、多岐にわたる
事業を行っています。どんな小さな事でも汗を惜しまずに、
組合員の皆様の役に立てるよう、役員・職員共に努力して組
合運営を行っています。」と笑顔で応えてくれました。



協同組合山九ハイウェイセンター
上村文子さん 畑中勢津子さん 寺戸法子さん
<http://sankyuhc.com/>

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://www.axis.or.jp/>



中小企業の情報発信 連携支援サイト <http://son19.com>
商稼村塾やまぐち連携交流プラザ



印刷製本 株式会社 桜プリント社